

ふるさと名物応援宣言

『雲仙天草国立公園を活用したインバウンド推進応援宣言』

熊本県上天草市
平成30年5月9日

地域のプロフィール

◆観光の歴史と現状

新たな観光地としての幕開け

上天草市は、熊本県の南西部にある天草諸島の玄関口に位置し、年間を通じ温暖な気候に恵まれ、その大部分が雲仙天草国立公園に属しています。また、周囲を有明海と八代海に囲まれ、きらめく海に点在する島々や眼下に絶景が広がる天草観海アルプスなど日本有数の景観を持つことでも知られています。これらの恵まれた自然環境を背景に、昭和41年、九州本土と大矢野島、天草上島を繋ぐ五つの橋(通称:天草五橋)が完成。当時、天草は一大ブームを引き起こし、県内外から多くの観光客が訪れるようになり、ホテル、旅館、お土産店など様々な観光産業が開業しました。



上天草市って
こんな
トコ!



しかしながら、昭和60年代以降、多様な旅行ニーズの変化に対応が遅れる等の理由で、かつて熊本県の二大観光地と称された阿蘇に観光入込客数で大きく水を分けられるなど苦戦を強いられました。

このような中、平成20年代に入ると、松島エリアを中心に若手経営者が原動力となり、行政や観光協会と連携し、観光客のニーズを反映させた新たな挑戦に取り組むなど、現在では、上天草市の観光の拠点的エリアとして多くの観光客を集めるようになってきています。

ふるさと名物の内容

わが市町村の
ふるさと名物は
これっ!

碧い海と松が織りなす 多島海の風景と大自然からの「のさり」

※「のさり」とは熊本弁で「恵み」

◆碧い海と松が織りなす多島海の風景(地域資源1)

上天草市の松島エリアは、大小の島々が点在する多島海の景色が印象的で、碧い海と緑の松をアクセントに、日本の伝統的な風景美が広がっています。また、昭和41年に完成し、九州本土と天草上島をつなぐ五つの橋(通称:天草五橋)は、それぞれ違う工法で建設され、それぞれの橋が個性的な風景を演出してくれています。

併せて、近年、SNSなどの普及により、インバウンド旅行者からの認知度も高まり、今後も箱庭を思わせるような、伝統的日本の原風景としてPRすることで、インバウンド旅行者のさらなる人気スポットとなる可能性を秘めたエリアであると考えています。上天草市では、引き続き、環境省と一体となった景観美の維持に取り組むとともに、この風景を活用した観光施策を展開することとしています。



主な地域資源 雲仙天草国立公園・天草の夕日



◆豊かな海が育んだ豊富な海の幸(地域資源2)

上天草市は有明海や八代海に囲まれ、九州本土から流れ込む川の影響で、豊富な養分を含み、多くの好漁場を作り出しています。これにより四季を通して豊富な海の幸に恵まれ、懐石を中心とする海鮮料理は、上天草市の観光資源の一つとなっています。上天草市では、近年、和食ブームの影響でインバウンド旅行者からも注目が高まりつつあることから、事業者と連携し、創意工夫を重ね、世界中の旅行者を楽しませるための食文化を発信しつづける取り組みを推進していくこととしています。

主な地域資源 アジ・ウニ・黄金のハモ・牡蠣・クルマエビ・タイ・タコ・トラフグ

◆自然環境を活かしたアクティビティ(地域資源3)

天草諸島は島全体が海に囲まれていることから、「200頭以上のミナミバンドウイルカを楽しむイルカウォッチング」、「多島海の島々を巡るシーカヤック」、「眼下に美しい海を眺めながら楽しむトレッキング」など海を活用したアクティビティが充実しています。上天草市では、これらの唯一無二の体験を世界に発信することで、観光地としての訴求力を高めていくこととしています。

主な地域資源 イルカの生息地・雲仙天草国立公園・松島温泉・天草陶磁器



上天草市の取り組み

市独自の施策でふるさと名物の 磨き上げをサポート

官民協働で
ふるさと名物を
磨き上げ!

◆前島開発の推進

上天草市では、松島エリアの前島地区を観光の拠点地域と位置づけ、「千巖山・前島地区総合開発」を推進。平成31年度には、その中心的存在となる観光交流拠点施設の完成を予定しています。これらの整備により、既に営業を開始している民間施設との相乗効果で、美しい自然の造形美を楽しむエリアとして集客力の向上が図られ、その効果を市内全域へ波及させることが期待されています。



◆食をフックとした海外への情報発信

上天草市では、地元で獲れた新鮮な食材を使った幅広いメニューをキラコンテツと位置づけ、地元観光協会や民間企業との協働で、香港や台湾等のアジア諸国をターゲットとした情報発信に取り組んでいます。また、平成29年度からインバウンドに訴求力の高い「温泉」と「食」を組み合わせた「ONSEN・ガストロノミーツーリズム」も推進するなどインバウンドを意識した施策を展開することとしています。



◆着地型旅行プログラムの開発

上天草市では、「イルカウォッチング」や「五橋クルージング」、「トレッキング」、「サイクリング」、「シーカヤック」、など豊かな自然環境を活かした着地型旅行プログラムの開発を推進しています。これにより、地域の特徴を活かしたオンリーワンの旅行プログラムの開発が可能となり、国内外の旅行客の満足度を高めることで、リピートしたくなるような地域、選ばれる地域としてのアイデンティティを確立することが可能となります。



◆旅行クチコミサイトを活用した海外への情報発信

上天草市は、トリップアドバイザー(株)と(一社)日本観光振興協会が連携して実施するケーススタディにモデル地区として参画。旅行クチコミサイトを活用した地方観光地からの情報発信に取り組んでいます。このケーススタディにより、市内の観光関連施設のクチコミ数を増加させ、FITへきめ細やかな情報を届け、地域全体の訴求力を高めることとしています。